

令和7年度 第3回 内子町教育改革懇談会の協議結果（概要）	
開催日時	令和7年9月30日（火） 19：00～20：25
出席者	委員：11名（3名欠席） 事務局：4名
協議事項	(1)第2回懇談会の概要報告及び確認 (2)小学校を再編する基準について (3)中学校を再編する基準について (4)小田給食センターについて (5)小田幼稚園について
協議内容	(1)第2回懇談会の概要報告及び確認 →【事務局から】事務局で記録し取りまとめた概要を報告し確認。 (2)小学校を再編する基準について →【事務局から】前回導き出された方向性と中間答申で示した再編の考え方との整合性について説明。再度、再編する基準について整理してもらうように提案。 →【委員】 （内子地区について） 中間答申の考え方に沿っており、再編する方向で意見が固まる。 （大瀬小田地区について） 大瀬小田地区で再編した場合、複式学級の解消は望めない。しかし、内子地区へ通学する時間を考えると現段階では大瀬小田地区で1校という再編が妥当。 再編先の学校については、再度検討を行う。 （五十崎地区について） 複式学級が生じる程の児童数の減少が生じない。また、再編した場合、クラス替えができる程の児童数の確保は見込めず、現在の教育環境を保つことが妥当。五十崎地区で1校という再編は現段階では行わない。 (3)中学校を再編する基準について →【事務局から】前回導き出された方向性と中間答申で示した再編の考え方との整合性及び学校施設の現状について説明。 →【委員】現在の学校施設の状態では教室数が足りないため、必要な整備をした上で1校に再編することが妥当。ただし、学校施設の現状等も考慮し最終答申を検討する。 (4)小田給食センターについて →【委員】今回の再編計画では大瀬小田地区に小学校を1校及び小田幼稚園、小田分校との関係もあるため、配送時間等も考慮し、現在のまま管理運営を考えるが、今後の安全で安心な施設運営の在り方について、再度現状を確認し最終答申に反映する。 (5)小田幼稚園について →【委員】幼稚園と保育園は運営目的が異なり、幼稚園を希望する保護者はいるため、町内に幼稚園は残しておいた方がいいと考える。小田幼稚園を存続させるために校区を小田地区から全町へ拡大し、園児数の確保に努める。 <u>【参考】 ※中間答申抜粋</u> （小学校）通学時間や通学距離に無理があり、統合が困難な場合を除いて、複式学級を解消できる規模が望ましい。 （中学校）クラス替えのできる生徒数を確保することが望ましい。また、特に小規模校については、部活動の維持や地域移行の時期を考えた場合、活動における支障ができるだけ軽減されるよう配慮すべきである。
協議結果	○今回の協議結果をまとめ次回の懇談会で最終答申の素案を作成する ○次回懇談会を10月末又は11月上旬頃開催（状況により変更あり）